

# 英語

## 出題の傾向

今年度も例年通りの出題方針を取っており、長文問題・文の書き換え問題・整序問題・会話の問題・語いの問題・文法問題・アクセントの問題・発音問題・英作文問題を出題しました。基本的には中学校での既習内容がほとんどで、教科書や準拠のワークに載っている単語・熟語・構文を身につけておけば特に難しいものではありません。

## 2022 今年度の出題と解説

### ① 長文問題

長文を読み、内容の把握と英問英答の問題を主に出しました。今年度も昨年度に引き続き、会話文を出題しました。今年度は東京で開催されたオリンピックを題材にしており、海外から招かれたレポーター同士の会話となっています。日本のコンビニエンスストアの利便性に関する会話を通して、海外との文化の違いを理解することが求められる英文となっています。

問1 内容一致の問題です。全体的な正答率は悪くなく、丁寧に英文を読み取れていたように思います。c「Antonioはお金が無かったので、Bobにおごってもらって」は一見正しいように見えますが、Antonioはお金をATMから引き出すため、Bobに一時的に支払いをお願いしているのであり、その後購入した文のお金を支払っている場面があります。このように、本文全体から正解を読み取ることが大切です。

問2 例年出題している英問英答の問題です。本文中からキーワードを探してくることはできていましたが、文ではなく単語だけの答案が散見されました。S(主語)+V(動詞)を使って答えるようにしてください。全体的に時制や人称を間違えて書く答案が多くあり、答えのポイントは分かっているのに減点されている惜しい答案が見られました。(2)においては、Antonioをhe/she問わず正解にしました。

問3 本文中の語が示す具体的な内容を日本語で答える問題です。(1)と(3)の正答率が非常に低い結果となりました。指示語は必ずしも直前の語を指しているとは限りません。文章全体を把握し、何を指しているか理解する必要があります。また、情報を過不足なく答えることも必要になります。

会話文では、誰がどのような発言をしているのか、そしてどのような状況での会話を理解することが大切です。途中で場面が変わることもあるので、英文を見て状況を把握しておきましょう。今年度も下線部和訳の問題を出題しました。文章全体の流れをきちんと把握することが大切です。

### ② 文の書きかえ問題

例年より少し難しい問題を出題しました。(1)はgive B to Aという構文において、forと答える答案が多く見られました。(2)では助動詞と受動態を組み合わせた問題を出題しましたが、「must not be +過去分詞形」の形を捕らえられていない様子でした。(3)はbeforeを使用した答案が非常に多く見られました。

教科書や問題集、過去の入試問題などを見て、同じような意味を表す文をまとめて整理しておくことが大切です。

### ③ 語句の並べかえ問題

与えられた語句をすべて使用せずに書く答案が毎年見られます。また、並べることはできているのに、写し間違えたために減点された答案も多くあります。(3)のsuchを利用した並べ替えはよくできていました。一方、(4)の後置修飾は多くの受験生が不得意にしているようで、Tomを主語に置いた英文が多く見られました。また、(5)も同様で、weを先頭に置く文章が多く見られました。

語句の並べかえ問題では、日本語を参考にどのような文法が問われているのかを考え、語を並べていきます。まずは教科書に載っている基本的な例文を暗唱して、構文を理解し、使えるようにしておくことが非常に大切です。

#### ④ 会話文の問題

会話文は非常に良くできていました。

会話問題は場面設定を考えることが大切です。教科書や問題集などを参考にして、決まり文句のような、基本的な会話のやり取りを身につけておきましょう。

#### ⑤ 語いの問題

語いの定義が英語で示されています。(1)(2)の月と曜日はほぼ毎年出題していますので、確実に書けるようにしておきましょう。しっかり対策をしてもらえたようで、多くの受験生が正解していました。一方で(5)のumbrellaを書けない受験生が多く見られました。基本的な語いの中でも比較的覚えづらい単語は出題される可能性が高いので、きちんと丁寧に覚えていきましょう。

#### ⑥ 空所補充問題

教科書レベルの基本的な文法力を試す問題です。(5)のlittleとfewの使い分けは多くの受験生が苦手とする分野であったかと思います。特に似たような意味を持ち、使い分けの必要性がある語いに関しては細かく覚え、使いこなせるようにしておきましょう。

#### ⑦ ⑧ アクセント・発音の問題

アクセントと発音の問題は日頃から英文を読む習慣がついている受験生が多いためか、全体的に正答率が高く出ていました。この種の問題への対応は普段の音読が非常に重要になってきます。発音をきちんと覚えることで、リスニングの力も養えるので、日々丁寧に音読をしていきましょう。

#### ⑨ 英作文の問題

例年通りの条件付きの英作文を出題しました。今年度は「どこに住みたいのかを尋ねる英文」を問いました。Where are you live?のように、be動詞と一般動詞が混在し

た答案や、Where do you live?のようにwant to / would like toを書けていない答案が多く見られました。また、疑問文なので文末の?マークは必ず必要です。解答例を見れば分かるように、語い・文法共に難解な問題ではありません。基本的な表現を英語で書けるようにしておきましょう。

## 対策と アドバイス

教科書や学校で使用する問題集を中心に勉強しておけば十分に対応できます。定期考査や実力問題で出題された問題を復習し、出てきた単語、熟語、重要文を理解して、徹底的に暗記しておきましょう。また、英問英答問題の練習が不足していると思われる答案が目立ちます。教科書や問題集の問いに英語で答えられるように練習しましょう。長文問題が苦手な受験生は、まずは語いや文法をきちんと理解し、丁寧に読むことを意識しておきましょう。似た形式の問題が出ているので、本校の過去の問題を解くことも大切です。

最後に、音読をする習慣を身につけておきましょう。一つ一つ丁寧に音読し、書いて覚える勉強法を実践してください。